

障がい福祉瓦版

家族を支える家族会

■申し込み・問い合わせ先 市障がい児者相談支援センター ☎(37)9970

地域には、障がい児者を様々な形で支えるサポーターがいます。それは、友人であったり、医療・福祉の従事者や近隣住民であったりしますが、多くの場合、サポートの中心を担うのは「家族」です。

今回は、サポートの中心である家族をサポートする機能をもつ、家族会についてお伝えします。

障がい児者と家族

障がい児者の支援については、様々な制度やサービスが整備されてきていますが、それらが生活のすべてをサポートできるわけではありません。そのため、家族には、制度やサービスの隙間を埋める役割が期待されています。

家族にかかる負担は大きく、家族が疲弊してしまうことも少なくありません。家族なのだからという責任感や、自分たちで何とかしようという思いから、悩みを抱え込んでしまうことも多くあります。

そこで、悩みをもった家族を支えるために、家族会が結成されています。

家族会の役割

家族会は、共通した症状や疾患の方を身内にもつ家族が集まり、不安や悩みを語り合うなど、互いに支え合う場です。障がいの種類や目的別に組織されるため、会によって様々な特徴があります。

家族会の機能は、大きくわけて2つあります。

1つ目は、相互支援（助け合い）の機能です。境遇が近いということが互いの距離を近づけ、安心できる関係性の中で悩みや思いを語り合えることから、癒しの効果が期待できます。

家族会は、参加した方が、安心して自身の声を発信できる環境を確保しています。

2つ目は、学習（学びあい、知識を広げる）機能です。インターネットの普及により、様々な情報を簡単に得ることができますが、どの情報が自分に必要なものかを判断する難しさがあります。

家族会では、家族同士による情報交換が行われていて、本やインターネットなどではわからない、実体験に基づいた情報を共有することができます。地域にも相談の場は存在しますが、境遇が近い家族同士という関係性の中で得られる情報は、不安や悩みを解消するヒントになります。

家族自身の人生を生きるということ

障がい児者をサポートしている家族自身にも、個人としての人生があります。障がい者に様々なサポートが整備されてきているのと同様に、障がい児者の家族をサポートする仕組みも整備していく必要があります。

家族が心身ともに健康であることは、共に生活をしている障がい児者本人にとっても大きな利益です。その意味でも、家族会の存在は非常に大きなものです。

本市にも、家族同士で集まり、家族をサポートする団体が複数、存在します。まずは、お気軽に見学をしてみたいかがでしょうか。各団体に関するご相談やお問い合わせは、当センターまでご連絡ください。



市内の障がい児者団体・家族会

団体名	活動内容
身体障がい者福祉会	身体に障がいのある当事者同士による情報交換や各種活動を実施
心身障がい児者父母の会	心身障がい児者とその家族の福祉の向上を図るための各種活動を実施
おもちゃの図書館	ハンディのある子もない子も、おもちゃを通じて交流する場を提供
精神保健福祉家族会	精神障がいのある方の家族同士による勉強会と交流会を開催
ゆうゆうすまいる	障がいのある方たちに、休日の余暇活動の場を提供
すまいるの会	主に知的・発達障がいのある子の親同士による情報交換、各種活動を実施
いいこみ	支援学校等に通学中または卒業した子の親同士による情報交換、各種活動を実施
わかばクラブ	主に軽度発達障がいのある子の親同士による交流会を開催